

創立 76 周年
令和 8 年度 7 月号



咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



子育てに絵本を

園長 北村 恵

今年の梅雨は雨の多い梅雨となりました。プール開きをしても思うようにプールには入れず、子供たちは残念がっています。6月中でも台風が多く、大きな地震も各地で起きていて、なかなか気が休まらない日々です。

早いもので、1学期の登園日は残り13日。7月20日から夏季休業日が始まります。幼稚園では、今年も夏季休業中に絵本の貸し出しを行います。絵本を借りに来た時に飼育物の様子を見たりえさやりをしたりすることも出来ますので、ぜひご利用ください。

家庭教育学級でもお話しましたが、子育てにたくさん絵本を取り入れて欲しいと思います。担任の先生の読み聞かせは対面で行いますが、家庭で絵本を読むときは、膝の上に子供を乗せたり並んで座ったりして読みますね。この向きがすごくいいのです。子供は、保護者の方のゆったりとした声を聴き、同じ方向を見て、一緒に楽しい時間を過ごすことができます。

悲しいところは心から悲しく、うれしいところは本当にうれしい気持ちで、絵本の言葉の中に自分の思いを込めて読む声を通して、子供にも大人の気持ちや感性や愛情が伝わります。人間としての「根っこ」を育てる幼児期に、直接子供に「こういう人になってほしい」と言わなくても、絵本を読むということを通して、その思いを伝えることができます。子供との触れ合いで大切なのは時間ではなく、密度です。1日1冊でも、5分でも、ゆったりと絵本を読んであげることによって子供たちは保護者の方が自分のために読んでくれたという喜びを感じるでしょう。

子育てで、子供と一緒に遊んだり触れ合ったりできる時間は、案外短いものです。大きくなるにつれ友達と過ごす時間が増え、家族と一緒に出かけることも少なくなってしまう。ぜひ、今のうちにたくさんお子さんと触れ合い、一緒に楽しい時間を過ごしてください。子供が五感を通して感じていることを、親も一緒に感じ、共感していくことで、子供は親が同じことを感じてくれた嬉しさや、受け止められた喜びを感じることが出来ます。子供の目を見てうなずいて話を聞く、手をつなぐ、膝に乗せて話したり絵本を読んだりする、抱きしめる、添い寝をするなどの親の姿から、愛されている喜びを感じ取ることが出来ます。

幼児期に、人に愛されている喜びをたくさん感じる心が心の安定につながり、自律心、自尊感情、人への信頼感を育てます。親の愛情をきちんと伝えてもらえ、愛されているという実感をもっている子供はとても安定しています。悲しいことや困ったことがあったら、きっと助けてもらえるということを学んできているからです。

家族で過ごす時間が増える時期だからこそ、ぜひ絵本の世界をたくさん楽しんでください。